

第三回 スポーツマネジメント人材育成セミナー
(スポーツ庁支援事業)

- 1 開催目的 仙台市・スポーツコミッションせんだいでは、大規模スポーツイベントの誘致・開催やプロスポーツと連携した地域活性化に数多く取り組んできました。一方で、これらの取り組みのノウハウは、属人的なものとなりやすく、行政機関や関係した企業では人事異動の周期が短いことから、十分に継承されていない現状があります。今後もスポーツによる地域活性化を推進するためには、大規模スポーツイベント等の誘致・開催、スポーツと組み合わせた観光の推進や地域づくり等を戦略的に進める体制を構築することが求められ、そのためには、産官学双方でスポーツマネジメントやマーケティング的発想を有する人材を育成することが不可欠であることから、当セミナーを開催することにいたしました。スポーツ庁支援事業として年度内に3回開催を予定しています。
- 2 テーマ 優勝パレードをいかに地域活性化に生かすか
- 3 内 容 仙台・宮城のスポーツ関連イベントで規模、話題性、地域貢献の最高峰となったのは、2013年の楽天イーグルス優勝パレード。それはどう運営され、資金、マンパワーを集めていたかを具体的に解説します。またベガルタ仙台、羽生結弦パレードもありました。これら成果の大きいパレードの企画、運営に地域活性化の手法として学ぶものがあります。今回、2013年の楽天パレード実行部隊の裏側事情も含めてお話をいたします。街なかイベントを企画運営する際の多面的具体策を考察します。
- 4 主 催 スポーツコミッションせんだい / 共 催 スポーツ・ラボ仙台
協 力 河北新報社
- 5 日 時 2026年3月13日(金) 14:00~17:00
- 6 会 場 ゼビオアリーナ仙台内 スポーツ・ラボ(仙台市太白区あすと長町一丁目4番10号)
- 7 当日スケジュール(予定)
 - 13:30 受付開始
 - 14:00 本編開始
 - 【イントロダクション】5分程度
 - スポーツマネジメント人材育成セミナーとは...
 - 14:05 【第一部：教本の解説】45分+質疑応答 計55分程度
 - 講師：スポーツ・ラボ スタッフ
 - 《 休 憩 》(10分) 名刺交換等を促進
 - 15:10 【第二部：優勝パレードをいかに地域活性化に生かすか】計100分程度
 - 自己紹介、グループディスカッション 60分+整理作業 10分
 - グループごとに発表+質疑応答(5~6グループ) 各5分
 - 講評(講師、関係者から)
 - 16:50 全体総括
 - 17:00 終了
 - 17:10 完全撤収 → 希望者は懇親会へ
- 8 参 加 者 ①県内自治体等において企画・政策・スポーツ・観光・街づくり行政に携わる方々
②プロスポーツ等スポーツに関わりがあり、当セミナーに関心・興味のある方
- 9 申込、締め切り 3月2日(月)、別紙申込用紙にて

スポーツコミッションせんだい事務局

〒980-0012 仙台市青葉区錦町1-3-9 (公財)仙台市スポーツ振興事業団内

Tel:022-215-3209 Fax:022-215-3575 URL: <http://scs-sendai.jp/>



第三回 スポーツマネジメント人材育成セミナー (スポーツ庁支援事業)

2013 年楽天イーグルス優勝パレード 『優勝パレードで地域を盛り上げる』

主 催 スポーツコミッションせんだい
共 催 スポーツ・ラボ仙台 協 力 河北新報社
日 時 2026 年 3 月 13 日(金) 14 時 00 分～
会 場 ゼビオアリーナ仙台内 スポーツ・ラボ

《 次 第 》

1. 開会

2. 本会の趣旨説明

スポーツコミッションせんだい 事務局長 奥山 健一

3. 第 1 部：教本の解説（50 分＋質疑応答 計 60 分程度）

一般社団法人 スポーツ・ラボ仙台 専務理事 清水 義明

《 休 憩 》（10 分）名刺交換等を

4. 第 2 部：トークセッション（計 90 分程度）

各分野の代表者と、会場全体で、講評

5. 全体総括

6. 閉会

7. 反省会・・・人脈・ネットワークづくりを／今後の展開

第三回 スポーツマネジメント人材育成セミナー 参加者名簿

No.	参加者氏名	所属機関等	備 考
1	川田 喜則	㈱楽天野球団 事業開発本部長	P
2	貝田 真	㈱マイナビフットボールクラブ 執行役員	P
3	伊藤 亨	仙台商工会議所 中小企業支援部 部次長	
4	平形 聡	仙台商工会議所 地域づくり推進グループ課長	
5	長島 俊記	㈱セレスポ 営業課	
6	亀井 博行	カメイアリーナ仙台 副館長	
7	栗田 直樹	(一社)まちくる仙台 企画・広報	
8	猪股 和浩	七転八起.net 代表(岩沼名取エアポートマラソン)	
9	清野 良太	仙台市 経済局イノベーション推進部スタートアップ支援課拠点形成係 主事	
10	川崎 俊輔	仙台市 文化観光局文化スポーツ部 スポーツ振興課事業係 主事	
11	片岡 亮	亶理町 企画課 主査	
12	小嶋 雄悦	富谷市教育委員会生涯学習課 課長	
13	清水 勇希	富谷市教育委員会生涯学習課 主任技術主査	
14	安田 寿典	亶理町 生涯学習課 主事	
15	佐藤 浩一	(公財)宮城県スポーツ協会 クラブアドバイザー	
16	粥川 稔美	㈱OVER LAP 代表取締役	
17	粥川 雅巳	㈱OVER LAP 統括部長	
18	吉田 勝則	仙台市 文化観光局文化スポーツ部 スポーツ振興課 課長	P
19	早坂 秀仁	仙台市 文化観光局文化スポーツ部 スポーツ振興課事業係 係長	
20	児玉 聡	スポーツコミッションせんだいアドバイザー ((一社)スポーツ・ラボ仙台 理事長)	
21	庄子 繁樹	㈱宮城テレビ放送 報道制作局長	
22	清水 義明	(一社)スポーツ・ラボ仙台 専務理事	講師
23	泉田 和雄	スポーツコミッションせんだいアドバイザー (一社)スポーツ・ラボ仙台 理事(スポーツボランティアケアサポーター)	P
24	奥山 健一	スポーツコミッションせんだい事務局長 ((公財)仙台市スポーツ振興事業団 常務理事)	
25	青山 綾	スポーツコミッションせんだい事務局次長 ((公財)仙台市スポーツ振興事業団 事務局次長)	
26	山形 英寛	スポーツコミッションせんだい事務局 ((公財)仙台市スポーツ振興事業団 スポーツ交流課長)	
27	小磯 正臣	スポーツコミッションせんだい事務局 ((公財)仙台市スポーツ振興事業団 スポーツ交流課SC推進室長)	
28	和泉 隼	スポーツコミッションせんだい事務局 ((公財)仙台市スポーツ振興事業団 スポーツ交流課SC推進室)	
29	穴戸 亮太	スポーツコミッションせんだい事務局 ((公財)仙台市スポーツ振興事業団 スポーツ交流課SC推進室)	
30	大野 憲一	ベガルタ仙台 営業部長	P

第三回スポーツマネジメントセミナー
優勝パレードで地域を盛り上げる

【主催】 スポーツコミッションせんだい

【共催】 一社)スポーツ・ラボ仙台

【協力】 河北新報社

【日時】 2026年3月13日(14:00～)

第一章 優勝したらパレード？

「誰が？」 「どうやって？」

1. 優勝パレードの可能性を考え始める

- セ・パ交流戦2位
- 首位で折り返し→初V？
- 「初Vへエール募集」の社告（8月8日付河北新報記事）
- 球場増席の記事
- M2 8点灯(8月29日付)

2. 優勝パレードをいつから話題にしたか？

- ・優勝したらパレードってやるよね！
- ・パレードってどうやるんだ？
- ・課題抽出を事務局団会議で（8月13日）
- ・楽天優勝応援委員会・準備会（8月30日）

3. 優勝パレードって、どんなもの？

- 一応、優勝パレードを話題にしたことがあった
- 2009年札幌視察・・・日ハムの例
- 資料をもらっていた

4. 優勝パレードを実施するための 連合体を組織

- 楽天野球団との交渉、パレードコースの選定、演出、警察との協議、警備計画、スタッフ人員集めと管理、資金集め、広報など
- 多岐にわたる業務を短期間に設計し、資源を確保、コントロールする実働部隊はどこが？

第二章 優勝決定までの準備

1. 9月の動き

- 9月 2日 楽天イーグルス優勝応援委員会 設立総会
- 9月 3日 事務局会議
- 9月10日 企画運営委員会① 【議題】ポスター、PV、協賛、コールセンター設置
- 9月12日 「優勝パレード基本計画書」を検討
- 9月17日 企画運営委員会② 【議題】警備計画、優勝決定後について
- 9月18日 宮城県警と打ち合わせ
- 9月20日 楽天野球団(池田副社長)と協議
- 9月25日 企画運営委員会③ 【議題】応援委員会第2回総会対応
- 9月26日 Kスタ、国分町でPV、「リーグ優勝決定」
- 9月27日 宮城県警と打ち合わせ

2. 地元気運の醸成を図る

- 優勝が決まる前に「パレード実行委員会」を名のるわけにいかない。でも、必要な作業に手を付けなければ間に合わない。
- 優勝を目指すチーム・球団を地域が後押しする機運醸成のための組織的活動をしよう。

3. 優勝応援委員会の設立

- ・ 9月2日に設立総会・・・規約、人事案
- ・ パレードの実施主催者の決定と事務局活動が実質スタートした

4. パレードコースの検討

- 2010年に事務局で検討した案
- 「基本計画書」「見積書」「協賛案内書」
を事務局で検討（9月12日）

5. 企業協賛のセールス…配布資料

- 締め切りを11月10日と想定
- 協賛企画書作成、9月26日から打診開始
- 10月4日から正式セールス
- 楽天野球団と楽天スポンサーの広告会社へ企画書をわたす
- 結局、大半は河北新報で
- 11月12日にメドついた

6. 個人協賛の募集…配布資料

- 振込口座の準備
- 振込手数料なしの口座
- 広報も、街頭でも、球場でも
- 最後の4日間で急増

7. 広報の仕方、メディア対応

- ・パレードを全国に伝えることは東日本大震災の被災地状況を伝えることになり、やれることはすべてやるべきだ
- ・警察との協議中は詳細を漏らせない
- ・でも、

第三章 リーグ優勝決定から パレードまで (9月26日～11月24日)

1. 規模とコースを巡って 宮城県警と協議

- 札幌の例から10万人の計画
- 20万人対応でと
- 東二番町通を

2. 10月4日に記者発表

- パレード計画のやり直し
- 9月27日に警察の了承
- 10月2日に企画運営委員会で確認
- 10月4日パレード実行委員会で承認
- 10月4日記者発表

3. ボランティアスタッフは公募しない

- ・実行委員会関係団体から
- ・総勢 2, 200 人

4. テレビ中継とメディア対応

- 在仙テレビ局と
- 楽天野球団と
- 東北スポーツ記者会と

5. パブリックビューイング

- ・パ・リーグ優勝決定 9月26日に
- ・日本シリーズ第6戦、第7戦で

6. 交通、通信会社の対応

- ・臨時列車、車両追加・増発
- ・駅の一部出入口閉鎖
- ・電話の増強

7. 実施運営マニュアルなどの準備

- 運営マニュアル・・・152ページ
- 当日スケジュール
- 隊列

- ・パレードの実施に当たっては、「**楽天優勝パレード**」実施運営マニュアルを作成し、パレード運行計画表を作成した。これとは別に当日の詳細なスケジュール表も準備した。

- ・ **出発式**・・・10:50～11:00 **パレード**・・・11:00～11:30
- ・ 仙台商工会議所前～五ツ橋交差点 **全長約1.5km**
 - ＊ 1 m²に4人＝収容人数**17.2万人**＊ 1 m²に6人＝**24.2万人** 【最大収容人数】
- ・ パレードコースは、広瀬通で順行から逆行に変更。
片側3車線をパレード通過コースにして残り車線（対向車線全部と）と歩道(一部)を観客席とする。
- ・ 「**インフォメーション(救護)**」をコース上に4カ所、仙台駅2Fに設置
- ・ パレードスタンバイエリア（定禅寺通りから会議所前、110m）
- ・ **隊列全長**：約200m～210m、**隊列幅**：最大8m
- ・ パレードの各車両横に「車両帯同警備員」を配置

- ・パレード速度は約4.8km/h

- ・パレードの順番：

- ①先導パトカー ②中継車 ③タイトル横断幕
- ④ブラスバンド(県警32名) ⑤協賛社横断幕、楽天マスコット
- ⑥楽天チア ⑦協賛社横断幕
- ⑧～⑫オープンカー5台 ⑬協賛社横断幕
- ⑭伊達武将隊(5人) ⑮協賛社横断幕
- ⑯～⑳オープンバス5台 ㉑ブラスバンド（市消防42人）
- ㉒ゆるキャラ（5体） ㉓最後尾パトカー

- ・ **交通規制は9:30～12:00** 東二番丁通及び関連道路・渋滞解消
予想時間：規制解除後2時間
- ・ パレード当日、5:00判定会議①、以後一時間ごとに7:00③まで
- ・ **案内誘導・警備関係要員2,089人演出・進行・運営関係212人**
- ・ 控室確保26カ所（商工会議所、市役所、河北新報社、市民広場、五橋公園）
- ・ 混雑が予想されるアーケード商店街（おおまち商店街、クリスロード商店街）に事前に混雑状況を想定した放送原稿を準備

- 8. 企業および個人協賛の動き
- 9. 沿道人数、主催者発表の計算方法
- 10. 紙吹雪
- 11. 経済波及効果
- 12. パレードを終えて・
 - ・ ・ ・ ゴミがなかった！
- 13. 今後の課題

11. 経済波及効果

- 東北楽天のパ・リーグ制覇が宮城県にもたらす経済効果
→関西大学大学院の宮本教授（理論経済学）は229億5900万と試算した。チームが日本一に輝いた場合は、271億5500万円に拡大すると分析している。
- 優勝セールをはじめとする商業の販売増加額は、他球団の実績などを踏まえて前年同期比3%増の99億7500万円と算定。優勝パレードによる消費額も、延べ10万人の参加で6億7300万円と推測した。
- 実際には21.4万人の参加だった、・・・

12. パレードを終えて

- 12月5日、実行委・鎌田会長が記者会見で、開催御礼を述べるとともに、個人協賛金受付状況や記念バッジ発送などが発表された。
- 年度末の2014年3月28日、優勝パレード実行委員会の第4回総会が開催され、事業報告と決算が発表されて、実行委員会が解散した。→決算報告
- • • ゴミがなかった！

第3回スポーツマネジメント 人材育成セミナー

(スポーツ庁支援事業)

【主 催】 スポーツコミッションせんだい

【共 催】 一社)スポーツ・ラボ仙台

【協 力】 河北新報社

【日時】 2026年2月13日(14:00～)

《 本会の趣旨説明 》

スポーツコミッションせんだい

事務局長 奥山 健一

2013年楽天イーグルス優勝パレード 『優勝パレードで地域を盛り上げる』

- 第一部：教本の解説

講師：清水 義明

元・仙台市スポーツ振興課長

一社)スポーツ・ラボ仙台 専務理事

《 休 憩 (10分) 》

名 刺 交 換 等を

第二部「スポーツイベントと地域の未来」

- 2013年の楽天優勝パレードは、スポーツを活用して地域の課題解決に取り組む人たちがつながることで実現した最大規模のイベントだった。この社会的な資産、人財を、この先どうしていくか。どうしたいか。
- 今回参加いただいている各分野のみなさんにもお話を伺います。

・(株)楽天野球団 事業開発本部長 川田 喜則 氏

・(株)ベガルタ仙台 営業部長 大野 憲一 氏

・(株)マイナビフットボールクラブ 執行役員 貝田 真 氏

・(一社)スポーツ・ラボ仙台 理事 泉田 和雄 氏

司会 (一社)スポーツ・ラボ仙台 専務理事 清水 義明

◎楽天優勝パレードについて、

「組織・体制づくり」「関係先交渉」「資金」「運営」
「広報その他」などの面からお気づきのことを
お話しください。

①スポーツには「地域を元気に、人を笑顔にする力」
がありますが、現在重点的に取り組んでいることが
あれば教えてください。(現状)

②仙台、宮城のスポーツを取り巻く特徴として、
支援組織をはじめとするネットワークがありますが、
今後に向けて期待されることはなんですか。(今後)

(本番では時間の都合上カットされました)

問題提起です…スポーツ・ラボ仙台から

官民支援組織もSV2004も20年経過している。マンネリになっていないか？当初の目的が忘れられていないか？

SV2004は意識して世代交代に取り組んでいるが、官民支援組織はどうか？ リーダー役も、事務方も世代交代、人事異動で代わりつつある。

組織に進化(変革力)、継続性をもたせるには？

③スポーツイベントの成果として「観光・経済・復興分野への影響」があげられますが、皆様が今後取り組みたいということは何ですか。(今後)

今回セミナー趣旨にある通り・・・スポーツ・ラボから

産官学双方でスポーツマネジメントやマーケティング的発想を有する人材を育成することが求められている。

小さな経験も失敗も積んで人材を育てていかなければならない。

どんどん新しいことに取り組んでいってほしいし、そういう環境を地域は作っていかなければならない。

④本日の参加者に対し、ともにやっていきたいという
メッセージをお願いします。(連携)

スポーツ・ラボ仙台から

思い付きから始まっていい、その思い付きを言える地域でありたい。そういうことを言う人、聞く人たちのネットワークがこの地域に継続的にあって欲しい。

スポーツ・ラボ仙台はその聞き役になりたい。

全体総括・・・(一社)スポーツ・ラボ仙台 理事長 児玉 聡

【今回セミナーの目的】

- ・ 知見やノウハウが属人的なものとなりやすく、次代に継承されていない、されにくいことを問題視。
- ・ この20年でスポーツ先進地“せんだい”を作ってきたノウハウ、ネットワークの評価、継承をしなければ。

【活用すべき資源】

- ・ プロ球団の官民支援組織、スポーツボランティア(SV2004)、スポーツイベントのノウハウ、人材ネットワーク。

【2013年楽天優勝パレードから学ぶ】

- ・パレード実施のための「組織・体制づくり」「関係先交渉」「資金」「運営」「広報」などの活動を知る。

【この20年のスポーツによる地域活性化事業から】

- ・20年以上の経験値を学び、地域の課題解決(スポーツを他のテーマに当てはめて)に活用してはどうか。
- ・「どう組織建てを作る」「どう運営する」「次代に引き継ぐ」か。
- ・人材とネットワークの重要性に気づくはず。
- ・思い付きを言う人、聞く人のネットワークが必要

「スポーツマネジメント人材育成事業」

- ・当セミナーの第一回から第三回でご紹介した講話の内容を「教本」として製作いたします。人材育成、ネットワーク構築をめざして。
 - ・第一回「プロ球団の官民支援組織編」
 - ・第二回「スポーツボランティア編」
 - ・第三回「優勝パレードを地域活性化に生かす」

※一般社団法人 スポーツ・ラボ仙台では、スポーツクロニクル事業として みやぎ国体(2001年)以降の仙台・宮城の劇的に進化した“スポーツ“の地域に及ぼした影響力を調査・研究しております。

《本日の反省会…ラボ・オフィスで》

◎人脈・ネットワークづくりを

- ・今日の疑問をぶつけよう
- ・課題解決のヒントを見つける
- ・今後の展開に役立つ人を見つけよう！
- ・そして、繋がろう！